

集団健康診断の原点、 「巡回健診」は、今。

検診車が要請に応じて県内各地を回る巡回健診は、施設健診と並んで定期健康診断の重要な手段です。今回は、宮城県成人病予防協会の原点とも言える巡回健診を特集します。

そもそも巡回健診とは？

皆さんは、健康診断をどこで受けていますか？

健康診断と一口に言っても、定期健康診断や特定健康診断、がん検診などいろいろな種類があり、加入している公的医療保険の種類や年齢によって受けられるものも異なります。また、大勢の人が1カ所に集まって受診したり、個別にクリニックなどを訪れて受診したり、受ける場所もさまざまです。

職場や学校、地域の公民館や保健センターなどで健診を受けている方は、

巡回健診のメリット

X線撮影装置などの機器を備えたバス型の車両をご存じでしょう。巡回健診とは、このような「検診車」で、医師・看護師・検査技師などのチームが各地の会場を訪問して行う集団健診です。

自治体・事業所など大勢の人を対象に健診を行う場合、受診者が個別にクリニックなどを訪れるのは非効率的ですし、忙しくて受診が困難な人も多いでしょう。

しかし、職場や学校を会場とする巡

回健診であれば、勤務時間や授業の合間に受診することができます。また、医療機関が少ない地域でも、多くの住民が受診しやすくなります。受診率が向上すれば、病気の予防や早期発見の機会が増えて、国民の健康を守ることにつながるわけです。

当協会ではこうしたメリットを活かすために、お客様と事前に綿密な打合せを行って、スムーズな健診運営に努めています。部屋の広さや特徴に応じた検査項目や待機場所を柔軟に配置す

巡回健診は宮城が発祥

今では全国で当たり前の実施されている巡回健診ですが、日本初の検診車による集団健診は宮城県で始まりまし

た。

当協会の巡回健診の今後

高齢化が加速し、地域包括ケアシステムの重要性が高まる時代において、巡回健診が担う役割も進化させていく必要があります。

検査精度や受診率をより向上していくのはもちろんのこと、総合健診センター・中央診療所における施設健診との連携、そして仙台循環器病センターにおける病院機能との連携を生かし、集団健診の現場と医療現場をつなぐ役割を果たしていきたいと思っています。また、健康づくり事業にもさらに力を入れ、予防医学の立場から地域の健康を支えていきたいと考えています。

当協会の巡回健診の歩み

日本初の巡回健診実施から3年後の

1963年、健診による疾病の予防と早期治療を目的に、当協会の前身組織「(財)宮城県心臓血管病予防協会」が設立されました。

1979年には附属病院(仙台循環器病センター)を開設し、治療までを一貫して行える健診機関として、長年にわたって県内の地域健診や職域健診・学校健診などを続けてきました。

現在は、泉中央駅前の仙台循環器病センターに「総合健診センター」を併設し、仙台駅前の中央診療所とともに巡回健診によるスクリーニング検査と施設健診による高精度な検査の連携をさらに強化しています。

また、循環器・消化器疾患の最新医療を行う病院部門と健診部門が一体と

現在の取り組み内容

当協会では現在、宮城県内全域で住民・事業所・学校(小中高校、専門学校、大学まで)を対象とした巡回健診を行っています。

また、巡回健診部門では各種健康診断やがん検診のほか、健康増進部の保健師・栄養士・健康運動指導士による健康教室や介護予防などの健康づくり事業にも取り組んでいます。



黒川利雄 1897年～1988年
内科学者、医学博士。東北大学第10代総長、名誉教授。
1948年 東北大学医学部長就任(～1953年)
1957年 東北大学学長就任(～1963年)
1958年 胃X線検査機および胃検診車を開発、宮城県対がん協会会長(初代)就任
1960年 「宮城方式」胃がん集団検診を開始
1963年 宮城県心臓血管病予防協会(現・宮城県成人病予防協会)初代理事長就任

集団健診の受診者数 (2019年度実績)
住民健診…………… 78,680名
事業所健診…………… 130,987名
学校健診…………… 84,702名
受診者数計…………… 294,369名

巡回で実施可能な 健診・検査・健康づくりメニュー

〈健康診断〉

定期健康診断、特定健康診断、雇入時健康診断、全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診、特定業務従事者健康診断、海外派遣労働者健康診断、学校保健安全法に基づく健康診断

〈特殊健康診断〉

有機溶剤健康診断、鉛健康診断、特定化学物質健康診断、石棉健康診断、電離放射線健康診断、じん肺健康診断 他

〈指導勧奨による特殊健康診断〉

情報機器作業健康診断、腰痛健康診断、騒音作業健康診断 他

〈がん検診〉

胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん 他

〈その他検査〉

腹部超音波検査、骨密度検査、肝炎ウイルス検査、胃がんリスク検査、各種抗体検査、各種予防接種、ストレスチェック 他

〈健康づくり〉

健康教室、健康講話、運動/栄養セミナー、特定保健指導、介護予防事業 他

今日もどこかを走っています！

「巡回健診バス」一日同乗記

意外に知らない巡回健診の「舞台裏」。

巡回健診バス（検診車）に乗せてもらって、1日密着取材しました。

※取材・撮影は健診繁忙期を避けて3月初旬に行なったため、スタッフの服装は冬のスタイルになっています。



巡回健診部 班長 看護師

病気の早期発見を担う健診は大切な仕事。医療資格はもちろんのこと、大型車の運転免許など自分のスキルを最大限に生かせる巡回健診に、やりがいを感じています。さまざまな土地を訪れ、多くの人と出会い、毎年再会できることが、この仕事の魅力。経験豊富で頼もしいスタッフと力を合わせて取り組んでいます。

06 : 00

出発前準備

巡回健診の仕事は早朝から始まります。冬は夜明け前に始業し、朝日が昇る頃には検診車が協会ビル前にスタンバイ。



前日のうちに準備・点検しておいた健診機材や道具などを、手分けして検診車に積み込んだら出発前のミーティング。当日の検査項目や設営の配置などを確認し、担当業務ごとの注意点を共有します。



06 : 30

出発

検診車3台と乗用車1台に分乗。この日は鈴木班長も運転しました。



この日の巡回先は遠田郡涌谷町。三陸自動車道と国道346号を経由して約50kmです。

07 : 30

到着、会場設営

依頼先の（株）ダイカスト佐藤工業様に到着。会社の業務の妨げにならないように設営。



08 : 15

健診開始

①受付

新型コロナウイルス対策のため、発熱者検知カメラを設置。フロア誘導サインで受付前の「密」を防ぎます。



今回の会場は従業員休憩室の和室です。



②計測

③視力検査



④血圧・問診

測定値や問診結果はタブレット端末に入力。



⑤医師による診察

換気は念入りに。



【株式会社ダイカスト佐藤工業】

取材にご協力いただいたダイカスト佐藤工業様は、アルミニウムなどの非鉄合金鑄造で自動車部品や医療器部品など多品種を製造する企業。大型設備の充実した工場で大量生産はもちろん、ニーズに合わせた少量生産にも強いのが特徴です。

〒987-0284
宮城県遠田郡涌谷町猪岡短台字元館下30
TEL.0229-45-2455 FAX.0229-45-2454
代表取締役：佐藤 克博
設立：1976年5月1日
従業員数：30名
敷地面積：8,415㎡／工場面積：987㎡
主要製造品目：自動車、真空装置、半導体装置、重電、医療器、計器などに関わる部品および景観部材・特殊型部材など

巡回健診は地域の健康を支える大切な役割を担っており、医師として貢献できることに大きな意義を感じています。健診システムの導入により、受診者の前年データとの比較など健康状態の把握・管理がその場で可能 became、診察の精度・効率性がより向上しました。スタッフの技能も健診機器も常に進化させていくことで、より良い健診に努めています。



巡回健診部 医師

【巡回健診はチームワーク】

巡回健診は複数の検査を行うため、各検査に必要な有資格者がチームを組み、班単位で活動します。

この日は医師1名、看護師4名、准看護師2名、診療放射線技師2名、臨床検査技師1名、健診事務3名の計13名で向かいました。

班の人数は会場規模によって調整し、学校など受診者数の多い会場の場合は臨時スタッフも含め40名ほどになることもあります。

ぎっしり詰め込まれた高機能！ 検診車図鑑

検診車は、さまざまな機能を搭載したハイスペックな車両。
 新設備を備えた「胃胸部検診車」をご紹介します。



【胃胸部検診車】

胃部と胸部のX線撮影に併用できる車両です。ベース車両はバスではなくトラックです。当協会では胃胸部検診車のほかに胃部検診車・胸部検診車・循環器検診車を保有しており、用途に応じて使い分けています。



◆胸部X線装置



◆胃部X線装置

胸部X線と同時進行で撮影操作が可能。



◆プライバシーの配慮
 着替えスペースの確保や撮影画像が他の人に見えないようにするなど、さまざまな状況に対応できる仕切りカーテン。細かく配列された天井のカーテンレールは完全オーダーメイドです。



◆発電機
 エンジンを停止した状態でも、X線機材や空調などに大量の電力が供給できます

◆アメニティ設備

受診者にとって「待ち時間」は不快なもの。少しでも快適に過ごしていただけるよう、待合スペースにテレビを設置しています。シートの座り心地やウッドパネル、間接照明の導入など、アメニティ設備にもこだわって設計しています。



⑥採血
 検体容器はバーコードで管理して、記入漏れなどのヒューマンエラーを防止。



⑩聴力検査



⑧胸部X線 ⑨胃部X線
 胸部と胃部のX線撮影は1台の検診車で。



検診車はオーダーメイドの一点モノ

巡回健診はあらゆる状況に対応して現場で自己完結できる機能が必要。そのため、工夫を凝らしてイチから設計します。

当協会では、経験豊富なスタッフが実務を通して得た発想を基に、検診車の設計を行っています。

行く道は険しくとも

巡回健診の会場はさまざま。豪雪地や山間部など大型車両にとって過酷な道に行くことも少なくありません。

特に胃胸部検診車は、放射線を遮蔽するため車体を鉛でシールドしているので、約13トンもあります。マンホールのフタなどにも注意しながら走ります。狭く曲がりくねった山道ではサイドミラーを畳み、邪魔な木の枝を手で押さえながら進むこともあります。震災後間もない被災地へも赴きました。

あらゆる条件の下、臨機応変に行動できること。それが巡回健診スタッフに求められる資質です。豊富な経験に基づくスキルと柔軟な対応力を備えたスタッフが、巡回健診を支えています。

◆お問い合わせ 宮城県成人病予防協会 巡回健診部
 宮城県仙台市泉区本田町 8-12 TEL.022-375-7112

巡回健診の目的は、健康状態が「異常なし」か「疑いあり」か「異常あり」かをスクリーニングすること。前回の健診では異常がなくても今回は何か見つかるかもしれません。早期発見のためには継続受診が必要です。受診者の皆様に「来年も受けよう」と感じていただければ、快適な健診を心掛けています。



巡回健診部 係長 放射線技師

14:00

帰着・
 データ整理・
 記録

協会ビルに戻り、機材や検体を下ろしたら、受診票の整理や検体・画像を検査部門へ回す手続きなど、各担当者がそれぞれの作業を。繁忙期には作業が長時間になることもあります。



12:00

昼食・休憩

昼休みにご当地グルメを味わうのは大きな楽しみ。忙しい時は移動中の車で済ませることもあります。今日は、お店でゆっくりいただきました。



11:00

撤収

機材を検診車に積み込み、使用した施設を元通りに片付け、担当者様にご挨拶をして撤収。

